

定量的な基準による 平成30年度病床機能報告の 分析結果等について

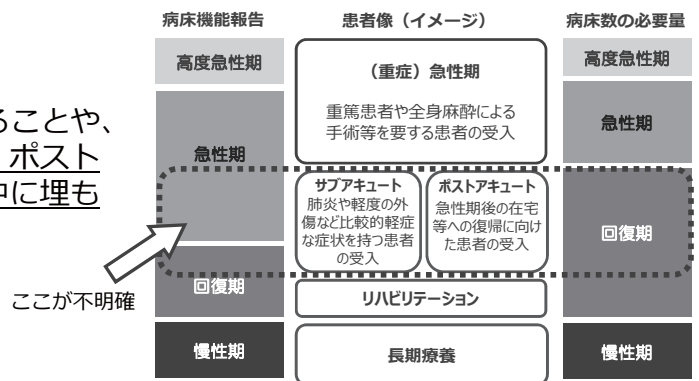
1. 定量的な基準による 急性期病棟の分類

1

定量的な基準による分類の経緯

■ 病床機能報告制度の問題点

「病床機能報告制度」は病棟単位の報告であることや、定義があいまいであるため、サブアキュート、ポストアキュートの患者の多くは、急性期の報告の中に埋もれてしまっている可能性がある。



■ 国の対応

※平成30年8月16日付け医政地発0816第1号厚生労働省医政局地域医療計画課長通知(抜粋)

各都道府県は、地域医療構想調整会議における議論を活性化する観点から、平成30年度中に、医療関係者等と協議を経た上で、地域の実情に応じた定量的な基準を導入されたい。

■ 本県の対応

※平成31年3月28日付け県内医療機関あて周知

次の定量的な基準を用いて急性期と報告のあった病棟の診療実績を分析し、基準を満たす場合は(重症)急性期に、満たさない場合は地域急性期に分類する。

算定式：病棟単位の月あたりの件数÷30日×(50床÷許可病床数)

分析項目
及び
基準

手術総数
算定回数
「1」以上

or 病理組織標本作製
算定回数
「1」以上

or 化学療法
算定日数
「1」以上

or 救急医療加算管理
レセプト件数
「1」以上

or 呼吸心拍監視
(3時間超7日以内)
算定回数
「2」以上

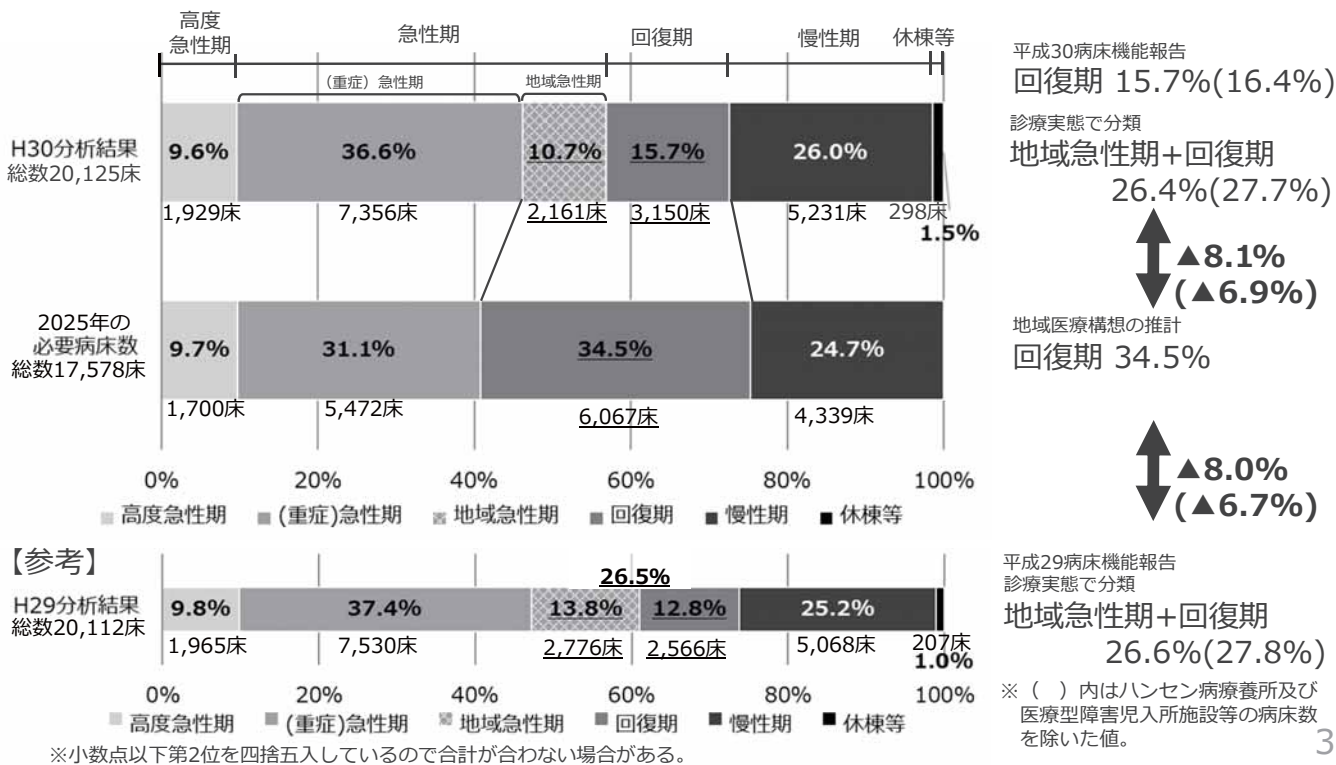
2

平成30年度病床機能報告の分析結果

県全体

急性期と報告のあった県内の病棟（253棟、9,517床）の診療実態で分類

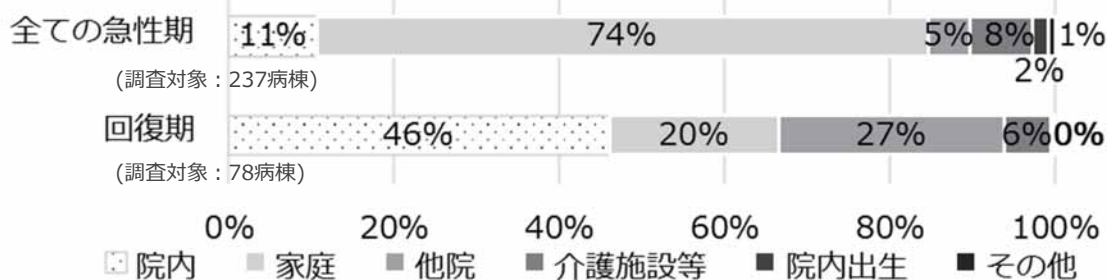
- 便宜上、**(重症)急性期**に分類される病棟 : **184病棟・7,356床**
- 便宜上、**地域急性期**に分類される病棟 : **69病棟・2,161床**



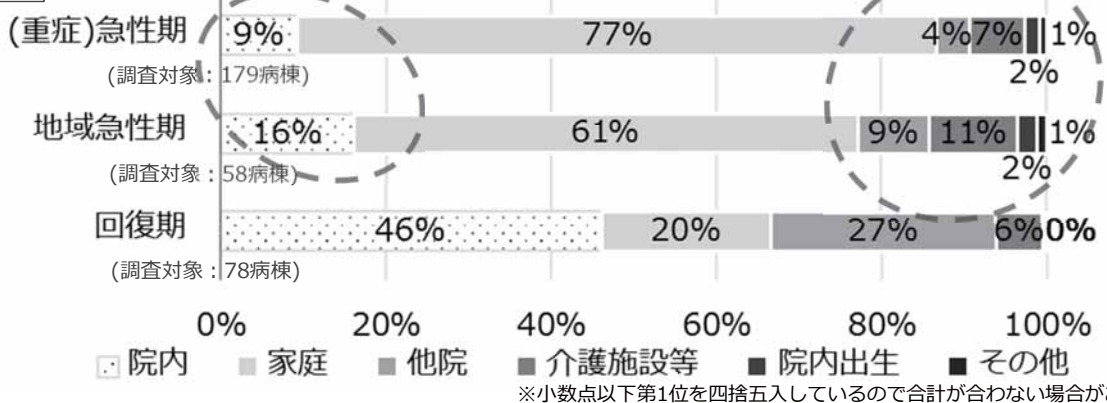
【参考】医療機能ごとの入院状況

報告様式1の「入棟前の場所」で分析。(急性期: 237/253病棟) (回復期: 78/83病棟)

分析前



分析後



地域急性期病棟の入院患者は院内での転棟や、他院や介護施設等から来る割合が多い。

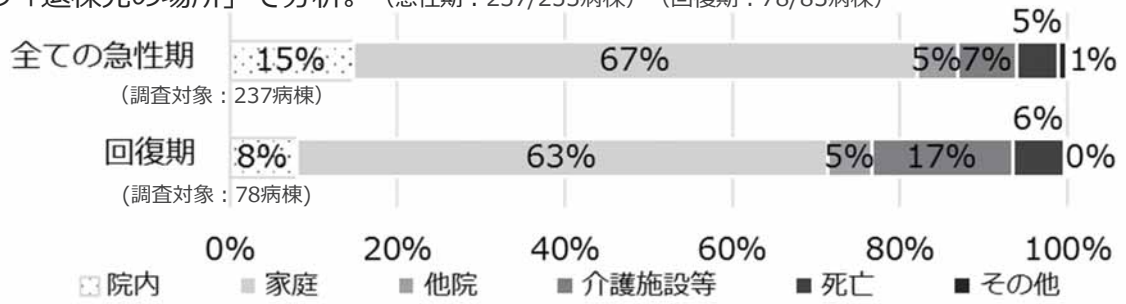


ポストアキュート、サブアキュートの役割の病棟

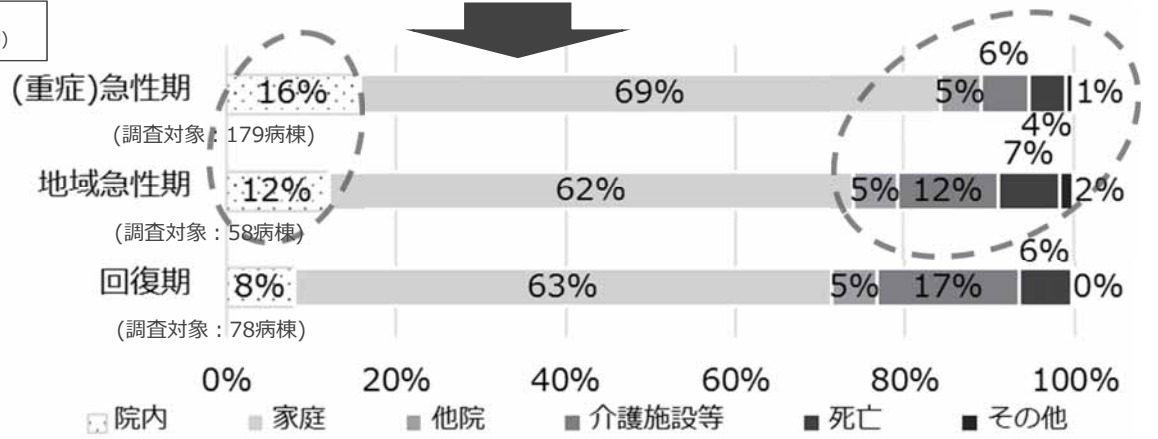
【参考】医療機能ごとの退院状況

報告様式1の「退棟先の場所」で分析。（急性期：237/253病棟）（回復期：78/83病棟）

分析前



分析後



※小数点以下第1位を四捨五入しているため合計が合わない場合がある。

地域急性期病棟からの退院患者は院内の転棟は減り、他院や老健等へ行く割合が増える。



ポストアキュート、サブアキュートの役割の病棟

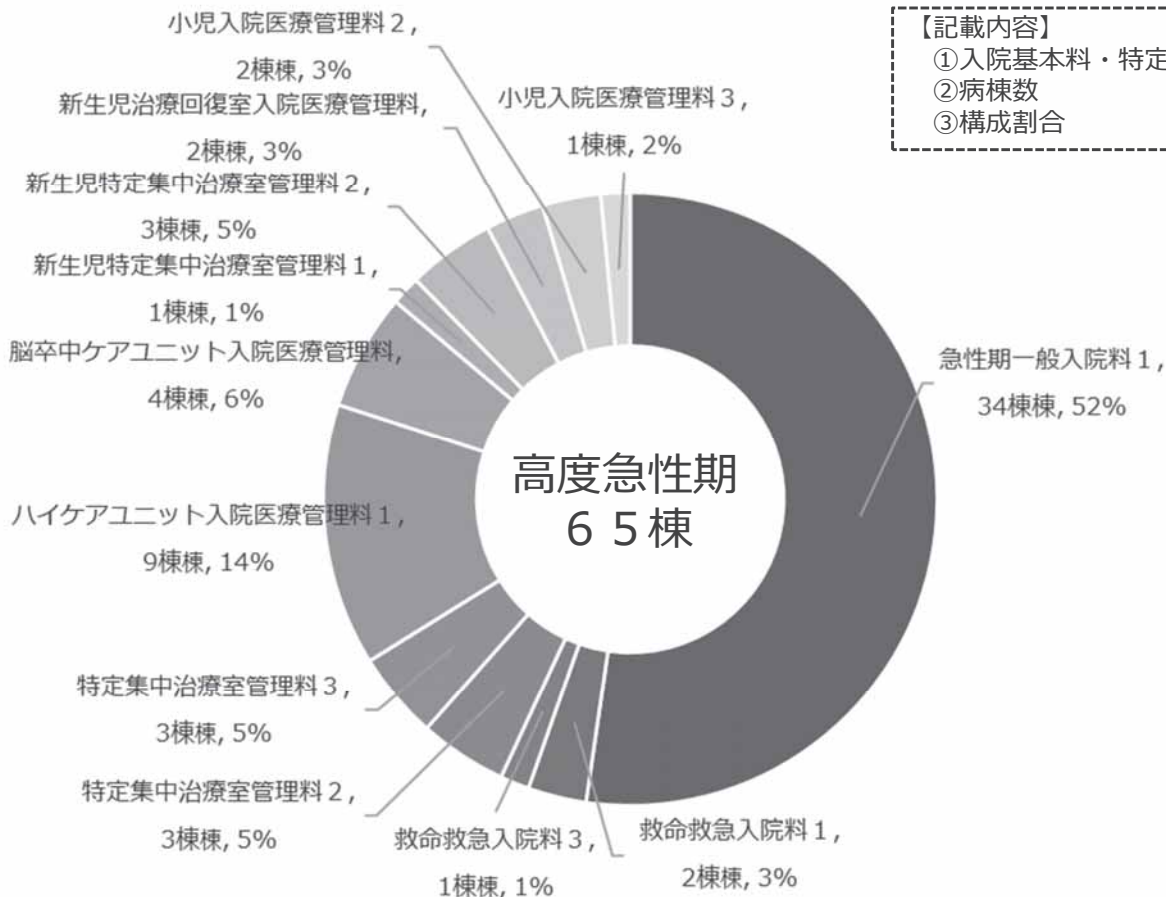
2. 医療機能と入院基本料等の関係について

医療機能ごとの入院基本料等

高度急性期

【記載内容】

- ①入院基本料・特定入院料名
- ②病棟数
- ③構成割合



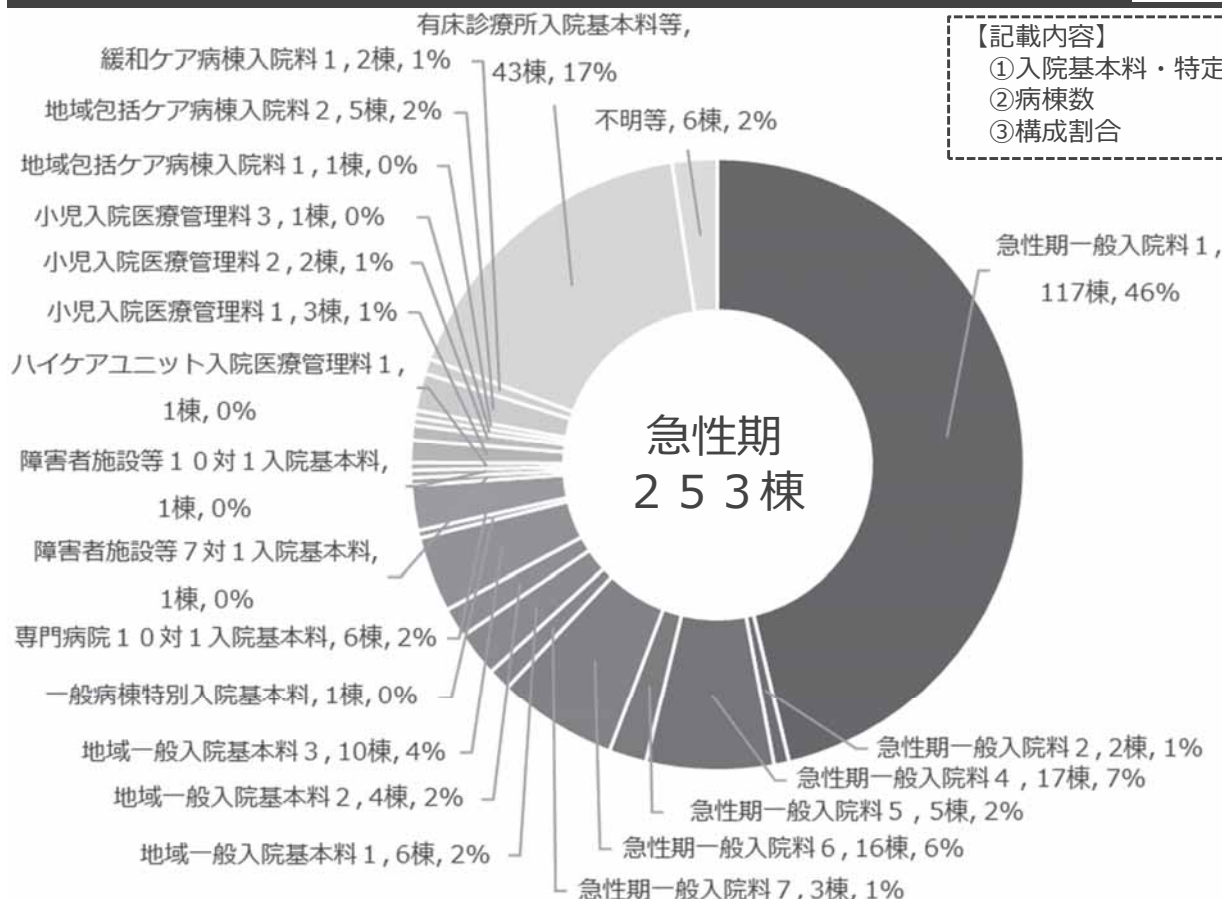
※入院基本料等の割合は、小数点以下第1位で四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。

医療機能ごとの入院基本料等

急性期

【記載内容】

- ①入院基本料・特定入院料名
- ②病棟数
- ③構成割合



※入院基本料等の割合は、小数点以下第1位で四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。

地域急性期病棟と入院基本料等の関係について

入院基本料・特定入院料	病床機能報告のうち、急性期病棟数/全病棟数	急性期病棟を定量的な基準で分類		地域急性期病棟の割合
		(重症)急性期	地域急性期	
急性期一般入院料 1	117 / 152	110	7	6%
急性期一般入院料 2	2 / 2	2	0	0%
急性期一般入院料 4	17 / 17	11	6	35%
急性期一般入院料 5	5 / 5	4	1	20%
急性期一般入院料 6	16 / 17	13	3	19%
急性期一般入院料 7	3 / 3	2	1	33%
地域一般入院基本料 1	6 / 8	1	5	83%
地域一般入院基本料 2	4 / 4	3	1	25%
地域一般入院基本料 3	10 / 20	5	5	50%
一般病棟特別入院基本料	1 / 3	0	1	100%
専門病院 1 0 対 1 入院基本料	6 / 6	5	1	17%
障害者施設等 7 対 1 入院基本料	1 / 3	0	1	100%
障害者施設等 1 0 対 1 入院基本料	1 / 16	1	0	0%
ルヴァニット入院医療管理料 1	1 / 10	1	0	0%
小児入院医療管理料 1	3 / 3	2	1	33%
小児入院医療管理料 2	2 / 4	2	0	0%
小児入院医療管理料 3	1 / 2	1	0	0%
地域包括ケア病棟入院料 1	1 / 5	0	1	100%
地域包括ケア病棟入院料 2	5 / 16	0	5	100%
緩和ケア病棟入院料 1	2 / 6	0	2	100%
有床診療所入院基本料等	43 / 62	21	22	51%
不明等	6 / 42	0	6	100%
合計	253 / 532	184	69	27%

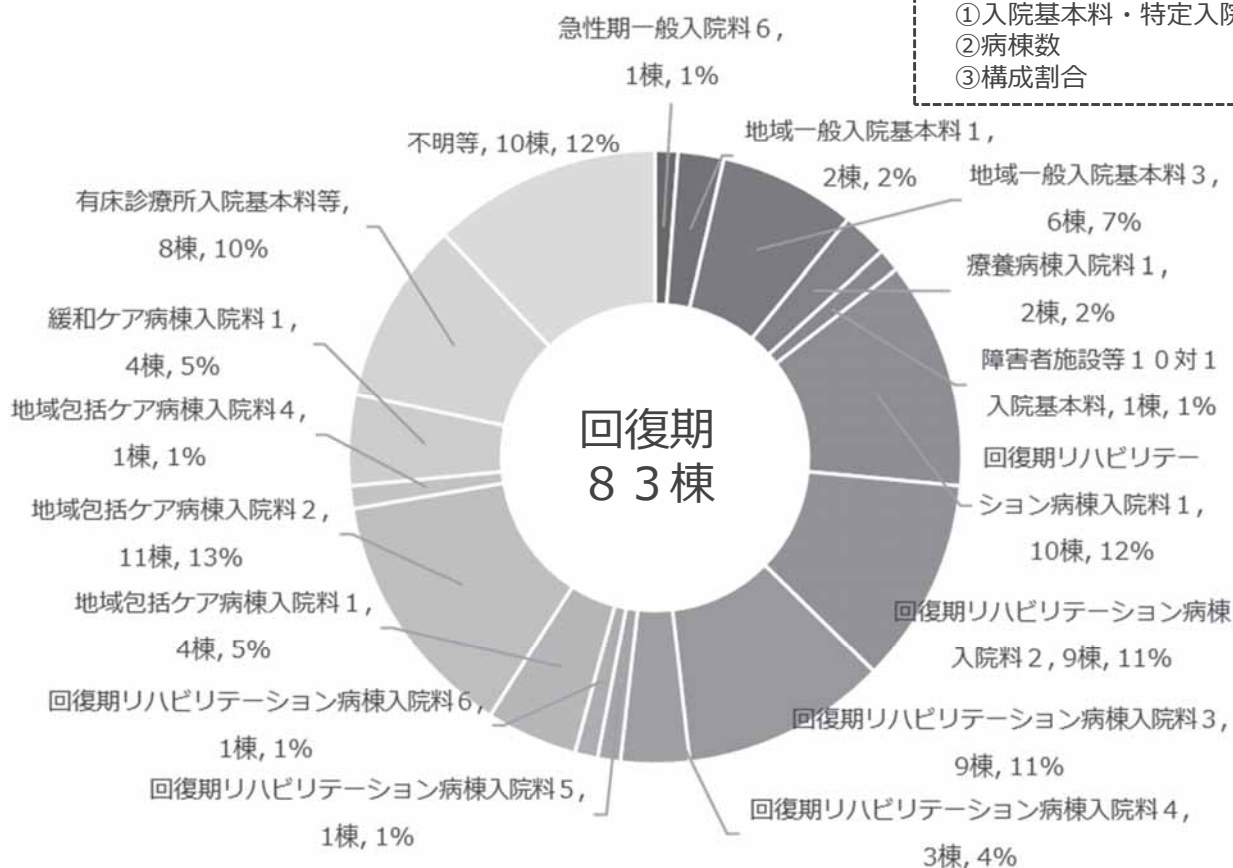
太線で囲った入院基本料等を届け出ている病棟の場合、「地域急性期」に分類される可能性が高い。次回以降の報告において注意が必要である。

医療機能ごとの入院基本料等

回復期

【記載内容】

- ①入院基本料・特定入院料名
- ②病棟数
- ③構成割合



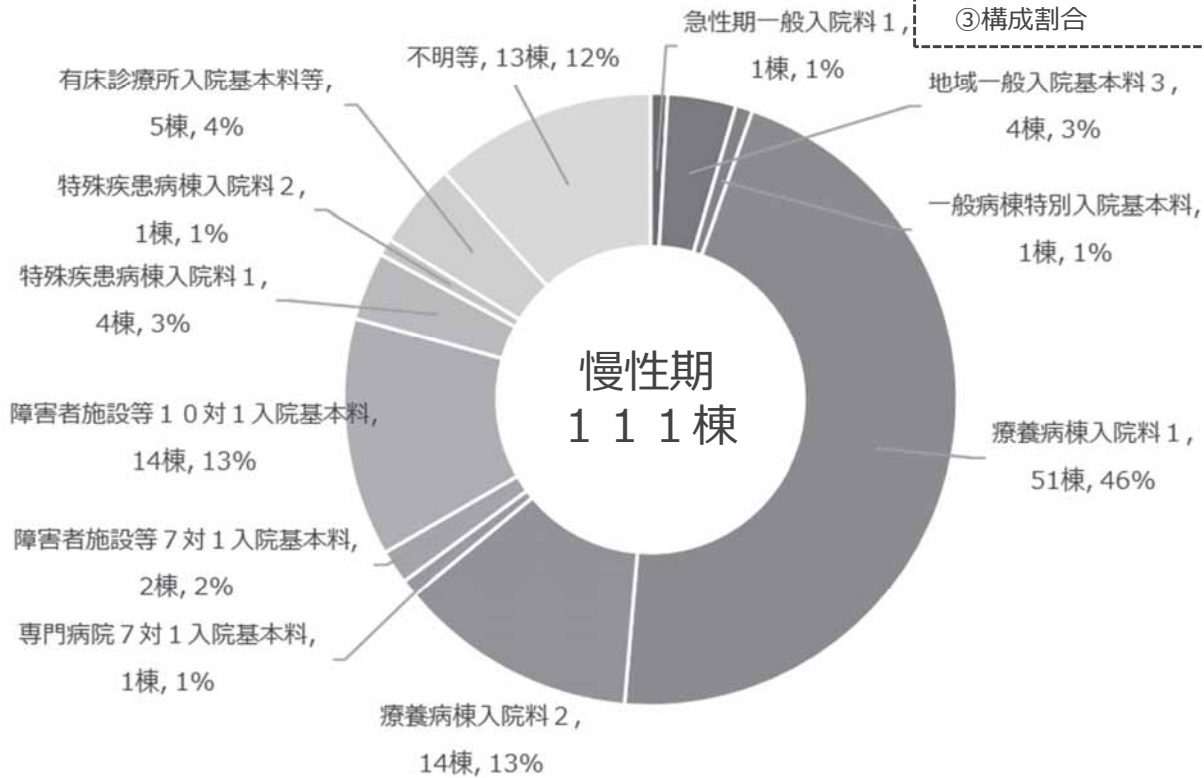
※入院基本料等の割合は、小数点以下第1位で四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。

医療機能ごとの入院基本料等

慢性期

【記載内容】

- ①入院基本料・特定入院料名
- ②病棟数
- ③構成割合



※入院基本料等の割合は、小数点以下第1位で四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。

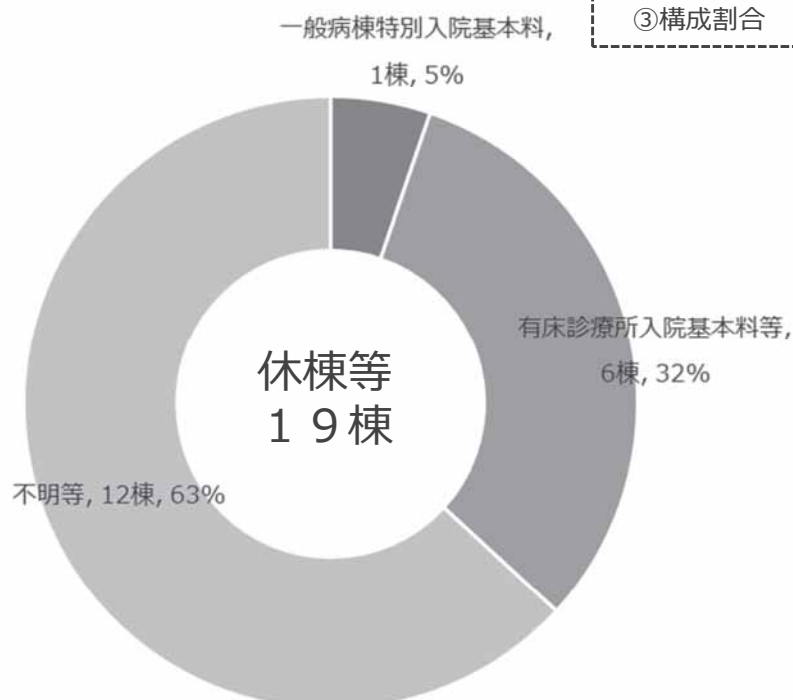
11

病棟機能ごとの入院基本料等

休棟等

【記載内容】

- ①入院基本料・特定入院料名
- ②病棟数
- ③構成割合



※入院基本料等の割合は、小数点以下第1位で四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。

12

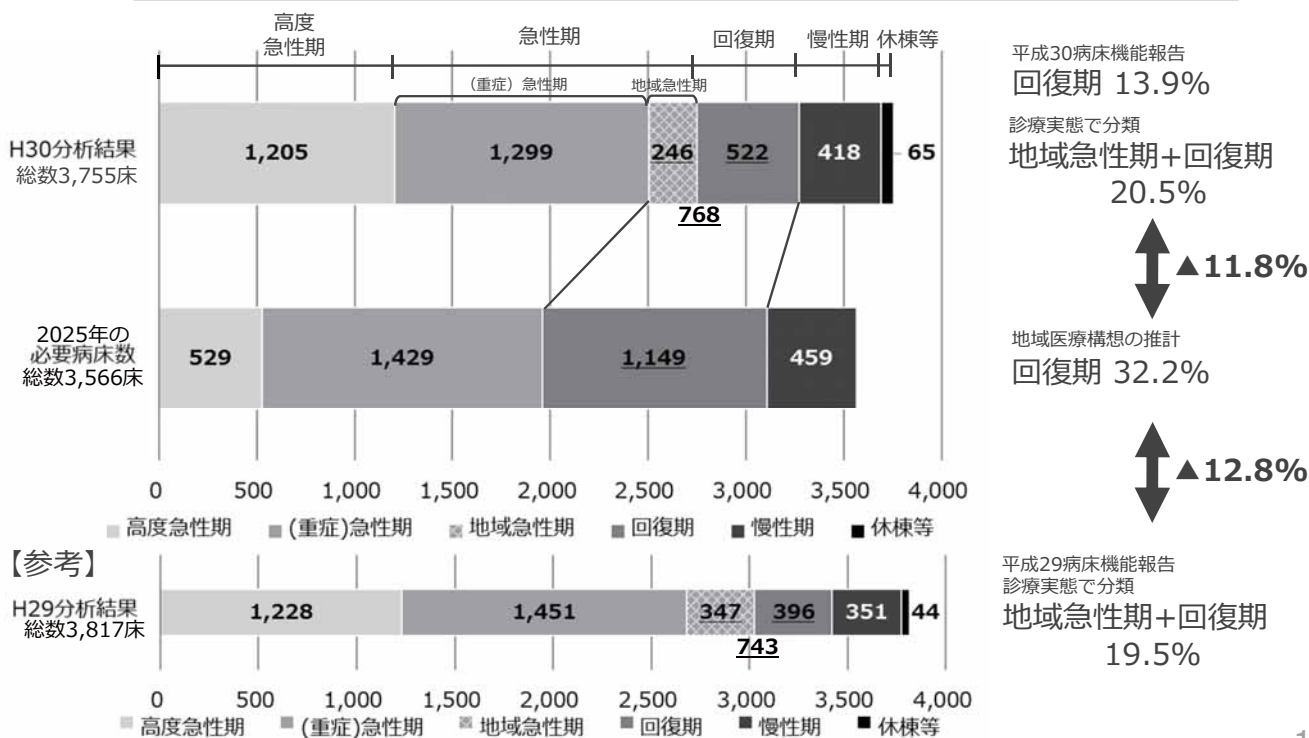
3. 二次保健医療圏ごとの分析結果

平成30年度病床機能報告の分析結果

前橋

急性期と報告のあった県内の病棟（39棟、1,545床）の診療実態で分類

- 便宜上、**(重症)急性期**に分類される病棟 : **32病棟・1,299床**
- 便宜上、**地域急性期**に分類される病棟 : **7病棟・246床**

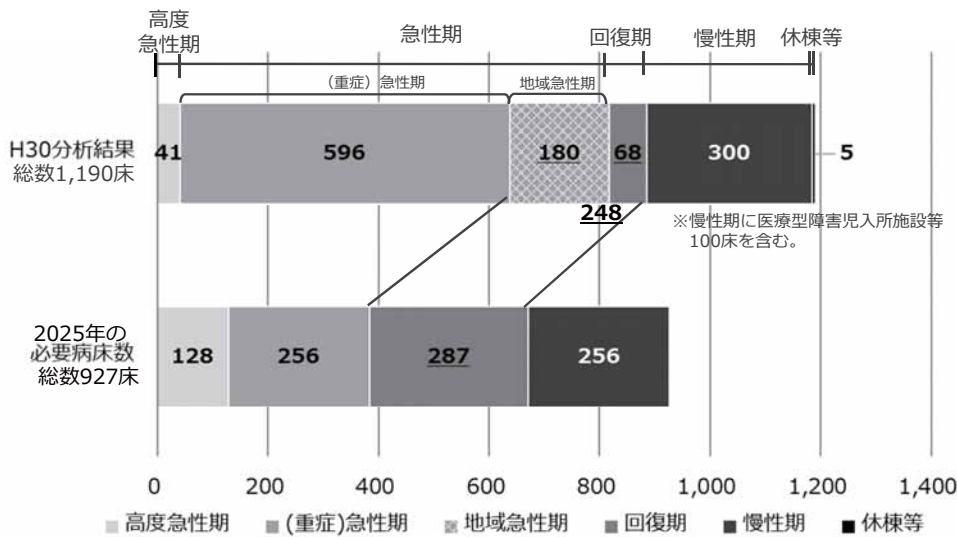


平成30年度病床機能報告の分析結果

澁川

急性期と報告のあった県内の病棟（20棟、776床）の診療実態で分類

- 便宜上、**(重症)急性期**に分類される病棟 : **15病棟・596床**
- 便宜上、**地域急性期**に分類される病棟 : **5病棟・180床**



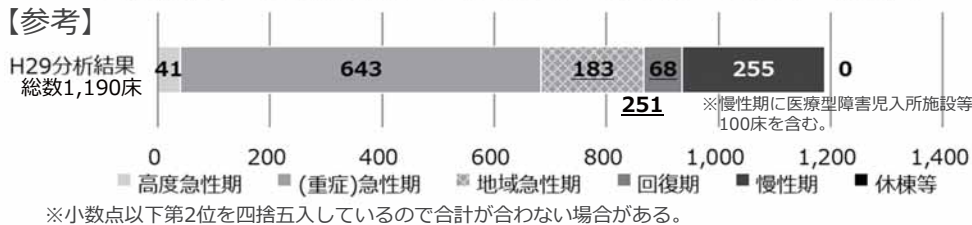
平成30病床機能報告
回復期 5.7%(6.2%)

診療実態で分類
地域急性期+回復期
20.8%(22.8%)

↑△10.1%
↓(△8.2%)

地域医療構想の推計
回復期 31.0%

↑△9.9%
↓(△7.9%)



平成29病床機能報告
診療実態で分類
地域急性期+回復期
21.1%(23.0%)

※()内は医療型障害児入所施設等の病床数を除いた値。

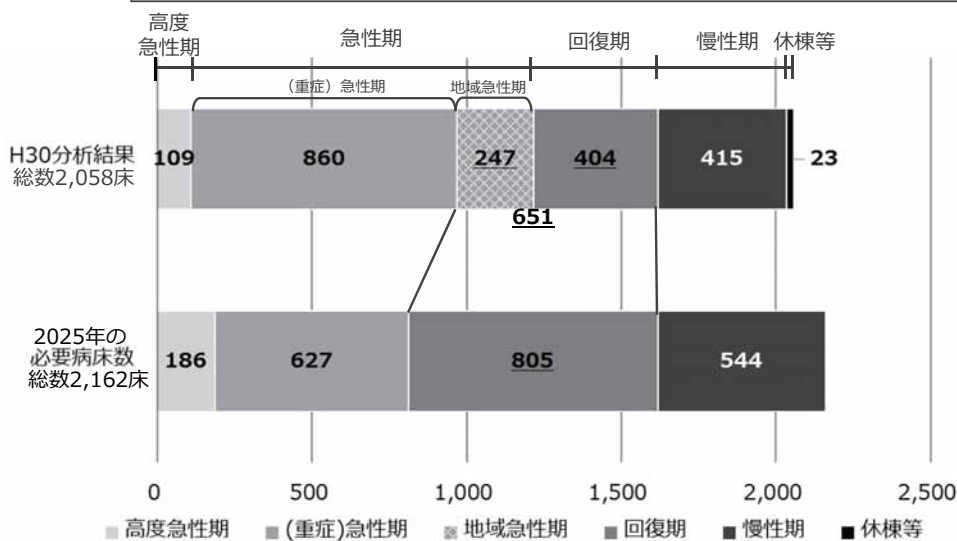
15

平成30年度病床機能報告の分析結果

伊勢崎

急性期と報告のあった県内の病棟（31棟、1,107床）の診療実態で分類

- 便宜上、**(重症)急性期**に分類される病棟 : **22病棟・860床**
- 便宜上、**地域急性期**に分類される病棟 : **9病棟・247床**



平成30病床機能報告
回復期 19.6%

診療実態で分類
地域急性期+回復期
31.6%

↑△5.6%

地域医療構想の推計
回復期 37.2%

↑△6.7%



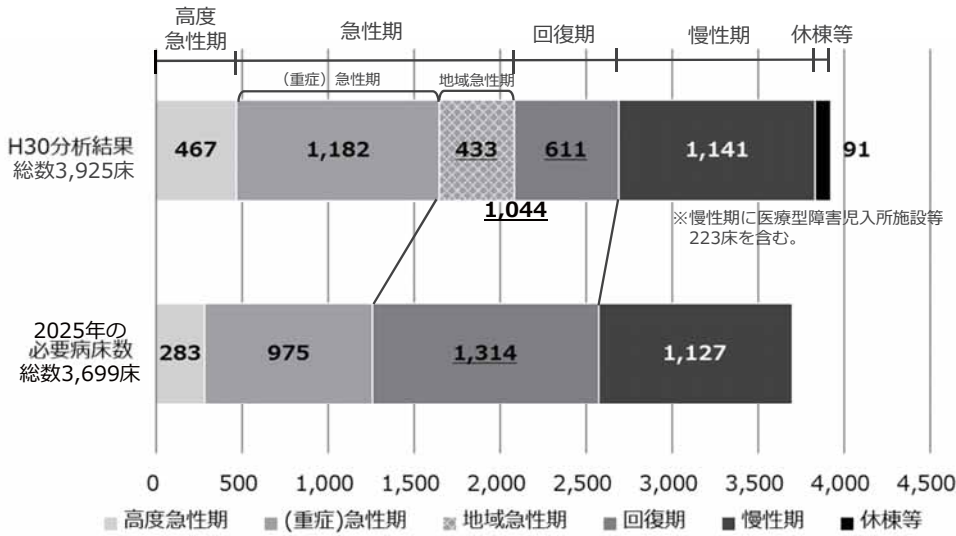
平成29病床機能報告
診療実態で分類
地域急性期+回復期
30.5%

16

平成30年度病床機能報告の分析結果 高崎・安中

急性期と報告のあった県内の病棟（46棟、1,615床）の診療実態で分類

- 便宜上、**（重症）急性期**に分類される病棟 : **30病棟・1,182床**
- 便宜上、**地域急性期**に分類される病棟 : **16病棟・433床**



平成30病床機能報告
回復期 15.6%(16.5%)

診療実態で分類
地域急性期+回復期
26.6%(28.2%)

↑△8.9%
↓(△7.3%)

地域医療構想の推計
回復期 35.5%

↑△10.6%
↓(△9.1%)

平成29病床機能報告
診療実態で分類
地域急性期+回復期
24.9%(26.4%)

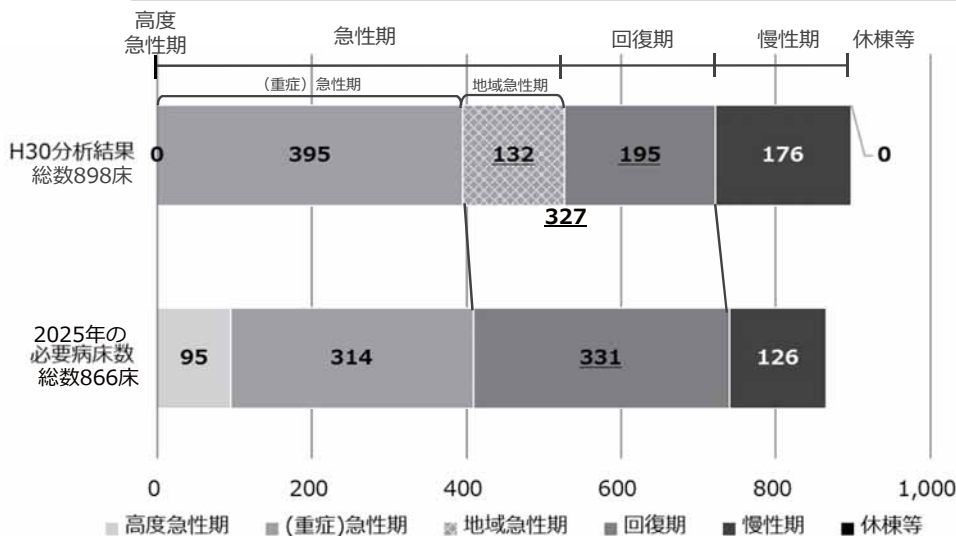
※（ ）内は医療型障害児入所施設等の病床数を除いた値。



平成30年度病床機能報告の分析結果 藤岡

急性期と報告のあった県内の病棟（14棟、527床）の診療実態で分類

- 便宜上、**（重症）急性期**に分類される病棟 : **10病棟・395床**
- 便宜上、**地域急性期**に分類される病棟 : **4病棟・132床**



平成30病床機能報告
回復期 21.7%

診療実態で分類
地域急性期+回復期
36.4%

↑△1.8%

地域医療構想の推計
回復期 38.2%

↑△5.0%

平成29病床機能報告
診療実態で分類
地域急性期+回復期
33.2%

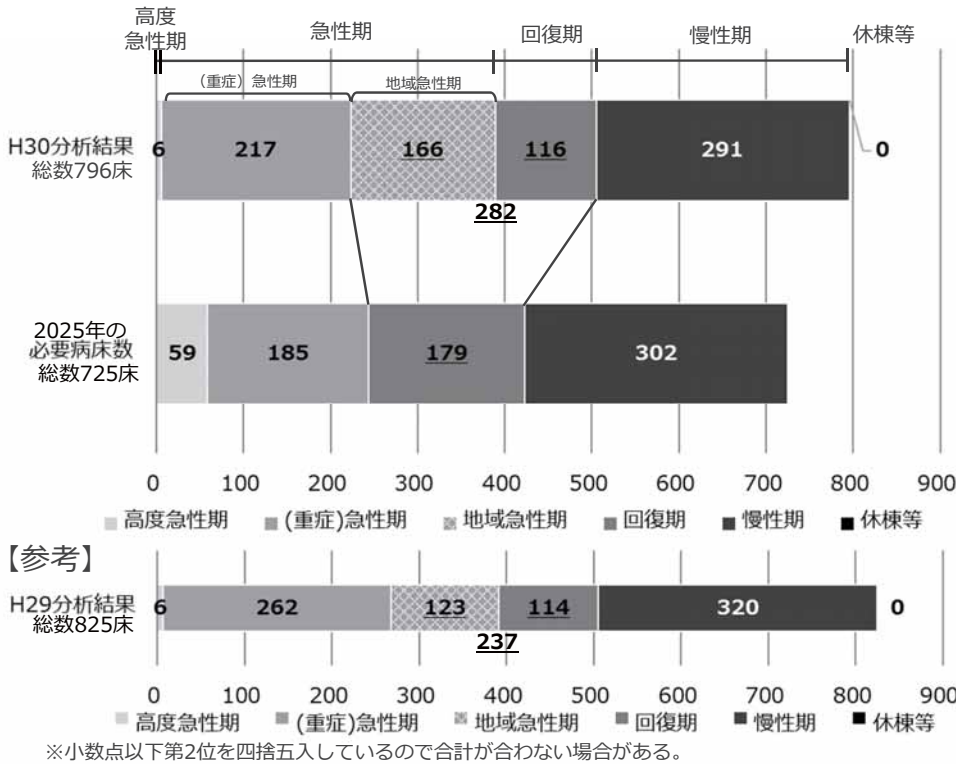


平成30年度病床機能報告の分析結果

富岡

急性期と報告のあった県内の病棟（11棟、383床）の診療実態で分類

- 便宜上、**(重症)急性期**に分類される病棟 : **5病棟・217床**
- 便宜上、**地域急性期**に分類される病棟 : **6病棟・166床**



平成30病床機能報告
回復期 14.6%

診療実態で分類
地域急性期+回復期
35.4%

↑↓ +10.7%

地域医療構想の推計
回復期 24.7%

↑↓ +4.0%

平成29病床機能報告
診療実態で分類
地域急性期+回復期
28.7%

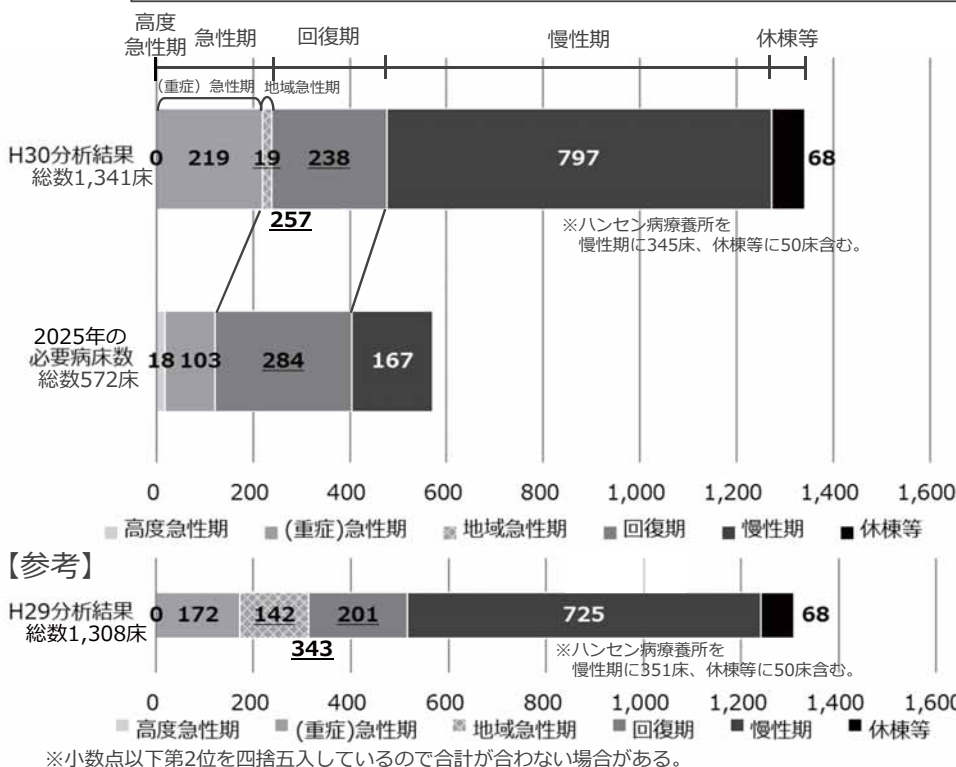
19

平成30年度病床機能報告の分析結果

吾妻

急性期と報告のあった県内の病棟（7棟、238床）の診療実態で分類

- 便宜上、**(重症)急性期**に分類される病棟 : **6病棟・219床**
- 便宜上、**地域急性期**に分類される病棟 : **1病棟・19床**



平成30病床機能報告
回復期 17.7%(25.2%)

診療実態で分類
地域急性期+回復期
19.2%(27.2%)

↑↓ ▲30.5%
▲22.5%

地域医療構想の推計
回復期 49.7%

↑↓ ▲23.4%
▲11.8%

平成29病床機能報告
診療実態で分類
地域急性期+回復期
26.2%(37.2%)

※（ ）内はハンセン病療養所の病床数を除いた値。

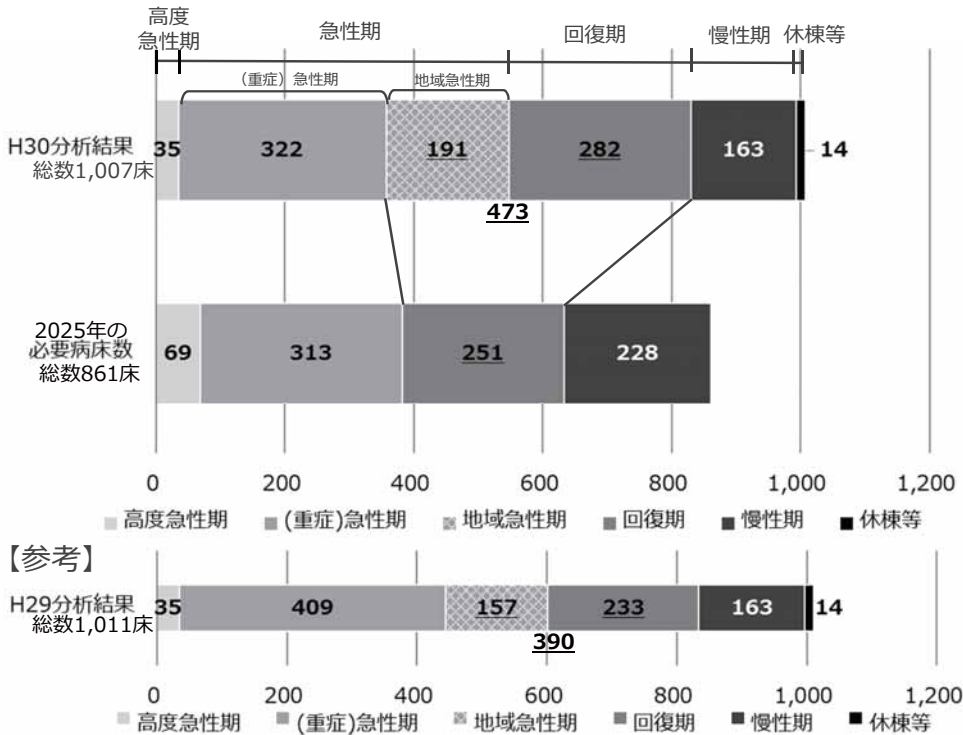
20

平成30年度病床機能報告の分析結果

沼田

急性期と報告のあった県内の病棟（14棟、513床）の診療実態で分類

- 便宜上、**(重症)急性期**に分類される病棟 : 9病棟・322床
- 便宜上、**地域急性期**に分類される病棟 : 5病棟・191床



平成30病床機能報告
回復期 28.0%

診療実態で分類
地域急性期+回復期
47.0%

+17.8%

地域医療構想の推計
回復期 29.2%

+9.4%

平成29病床機能報告
診療実態で分類
地域急性期+回復期
38.6%

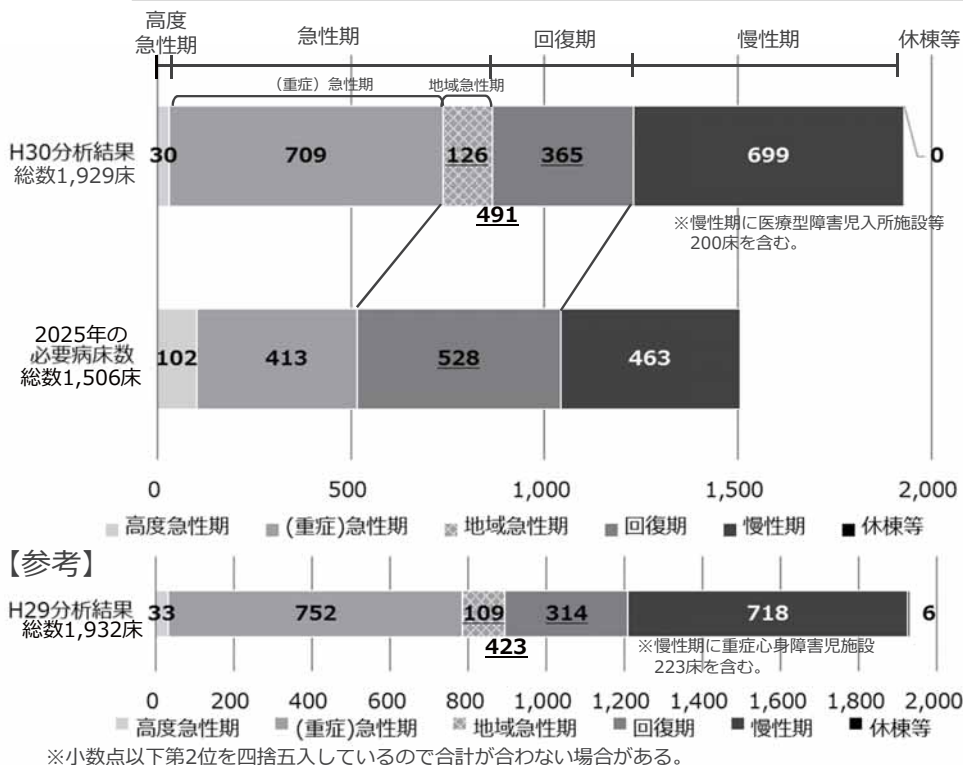
21

平成30年度病床機能報告の分析結果

桐生

急性期と報告のあった県内の病棟（19棟、835床）の診療実態で分類

- 便宜上、**(重症)急性期**に分類される病棟 : 15病棟・709床
- 便宜上、**地域急性期**に分類される病棟 : 4病棟・126床



平成30病床機能報告
回復期 18.9%(21.1%)

診療実態で分類
地域急性期+回復期
25.5%(28.4%)

▲9.6%
(▲6.7%)

地域医療構想の推計
回復期 35.1%

▲13.2%
(▲10.6%)

平成29病床機能報告
診療実態で分類
地域急性期+回復期
21.9%(24.4%)

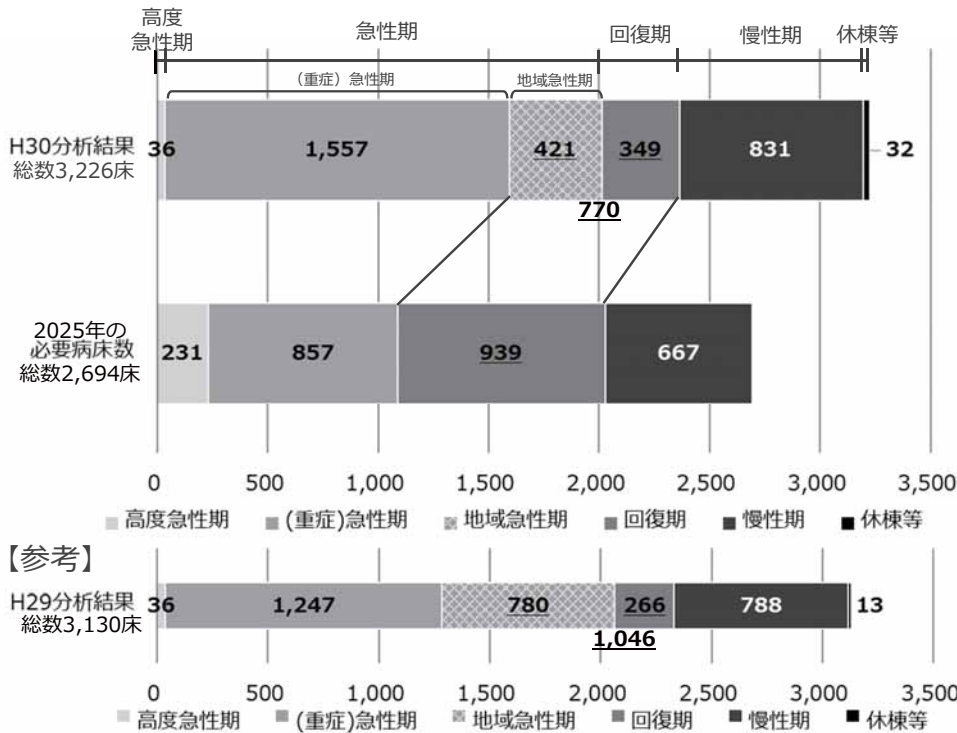
※()内は医療型障害児入所施設等の病床数を除いた値。

22

平成30年度病床機能報告の分析結果 太田・館林

急性期と報告のあった県内の病棟（52棟、1,978床）の診療実態で分類

- 便宜上、**(重症)急性期**に分類される病棟 : **40病棟・1,557床**
- 便宜上、**地域急性期**に分類される病棟 : **12病棟・421床**



平成30病床機能報告
回復期 10.8%

診療実態で分類
地域急性期+回復期
23.9%

↑△11.0%

地域医療構想の推計
回復期 34.9%

↑△1.4%

平成29病床機能報告
診療実態で分類
地域急性期+回復期
33.4%

※小数点以下第2位を四捨五入しているので合計が合わない場合がある。